

第3期中期目標期間(令和元～6年度)

公立大学法人福井県立大学業務実績評価書

令和7年8月

公立大学法人福井県立大学評価委員会

## 目 次

本評価の位置づけ	.....	1
I 評価結果	.....	1
1 全体評価	.....	1
2 分野別評価	.....	2
II 項目別評価	.....	6
新学部・新学科の創設	.....	6
教育	.....	6
研究・地域貢献	.....	7
国際化	.....	8
情報発信・業務運営	.....	8

## 《本評価の位置づけ》

本評価は、公立大学法人福井県立大学評価委員会が、地方独立行政法人法第78条の2第1項の規定に基づき、第3期中期目標期間（令和元年～6年度）に法人が中期計画に基づき行った業務実績を評価するものである。

評価に当たっては、中期計画で取り組んだ9項目を分野別に、法人からの聴き取り等を参考に、法人が行った自己点検・評価を基にその妥当性の検証と評価を行った。

## I 評価結果

### 1 全体評価

第3期中期目標期間の6年間の業務実績に対する評価結果は次のとおりである。

目標達成に向けて計画の実施に努めており、**概ね計画どおり達成した**と判断される。取り組んだ9項目の評価については、次のとおりである。

「計画を上回って実施している」	2計画
「計画を順調に実施している」	6計画
「計画を十分に達していない」	1計画

特に評価できる点は、次のとおりである。

- ・早い段階から学生との接点を持ち、きめ細やかな就職支援を行うことにより、全国平均を上回る就職率を維持、県内就職割合は令和2年度から5年連続で目標値50%を上回った点について評価できる。

## 2 分野別評価

1のとおり、第3期中期計画を概ね計画どおり進めたと認められるが、これまでの取組みをさらに加速させ、魅力ある大学づくりを目指すため、評価委員会の提言は、次のとおりである。

### 新学部・新学科の創設

- ・恐竜学部と地域政策学部の開設は、県立大学にとって大きな目玉である。恐竜学部は今年度、開設初年度を迎え、大変な人気を博したと伺っている。地域政策学部についても、6月末に学部設置届出が受理され、現在、着実に準備が進められている。両学部の今後の活躍を大いに期待している。
- ・地域政策学部は福井駅周辺のアカデミックな拠点として充実させていきたい。同学部を推進力とし、県立大学全体の存在感が更に高まることを期待する。

### 教育

- ・障害のある学生、LGBTQの学生を含む、多様な学生が安心して学べる大学環境の実現に向けて、「みんなのトイレ」の整備など、着実な取組みを期待する。
- ・ダイバーシティの観点から、様々な障がいを持つ教職員の大学運営への参画を進めていきたい。
- ・留学生の受け入れについては、留学フェアへの参加など、既にさまざまな取組みが行われており、今後さらに増加していくものと考えられる。留学生の増加に伴い、在学生全体の国際化も一層進展していくことを期待したい。

## 研究・地域貢献

- ・外部研究資金の申請率が着実に向上しており非常に評価できる。
- ・理学系の色々な研究を相乗的に発展させるために、経営的な観点から経済学部と連携を進めることが重要。
- ・研究者としては、まずは論文を書くことが重要。論文数が増えれば、著書も増える傾向にある。
- ・地域貢献の面では、領域、学部を横断した活動を様々に展開しており大変すばらしい。

## 国際化・情報発信・業務運営

- ・コロナの影響が大きいですが、第3期中期計画期間中に学生の海外留学割合にかかる数値目標を達成できなかったため、第4期中期計画においては、国際化を促進させるための早期の取組みに期待したい。
- ・国際化の指標が伸び悩んでいるものの、今年度開設された恐竜学部を起爆剤として、短期留学制度の推進などを通じて国際化が進展していくことを期待する。
- ・恐竜学部は報道等によく取り上げられており、話題性に富んだ学部だと思うので、どんどん発信していただきたい。
- ・17時以降の会議自粛や短時間での会議開催など、大学全体として業務の効率化に向けた取組みを進めることが求められる。
- ・教職員の任用にあたっては、スキルマトリックスの活用などを通じて、組織として戦略的な意思決定を行うべき。

■中期計画分野別評価結果

中期計画分野	項目数	評 価 結 果			
		S 計画を上回って 実施	A 計画を順調に 実施	B 計画を十分に 実施していない	C 計画を 実施していない
新学部・新学科の創設	1		1		
教 育	3	1	2		
研 究	1		1		
地 域 貢 献	1		1		
国 際 化	1			1	
情 報 発 信	1	1			
業 務 運 営	1		1		
計	9	2	6	1	

■中期計画分野別評価結果

評価項目（中期計画）		法人 評価	委員会 評価
I	新学部・新学科の創設	S	A
II	教育		
	1) 教育内容、実施体制の強化	A	A
	2) 多様な学生の受入れ	A	A
	3) 学生への支援	S	S
III	研究	A	A
IV	地域貢献	A	A
V	国際化	A	B
VI	情報発信	S	S
VII	業務運営	A	A

分野		法人の自己評価	各年度における評価結果						概要	評価委員会の評価
			R1	R2	R3	R4	R5	R6		
I 新学部・新学科の創設		法人の自己評価	S	A	S	S	S	S	<p>・創造農学科(令和2年4月開設) あわらキャンパスに教育棟および食農交流棟を整備し、農業経営者等の特任講師による実習など、実践を通じて農を幅広く学ぶ教育を実施した。</p> <p>・先端増養殖科学科(令和4年4月開設) かつみキャンパスに学科棟・飼育実験棟を整備し、ICTやゲノム編集技術等を取り入れた最先端の増養殖に関する実践的な教育を実施した。</p> <p>・健康生活科学研究科(令和5年4月開設) 看護学と社会福祉学を融合した全国的にも数少ない大学院博士後期課程であり、健康から生活までの多様な課題に対応した領域横断的な教育・研究を実施した。</p> <p>・恐竜学部(令和7年4月開設) 令和7年4月の開設に向け、有識者会議の意見を基に基本構想を策定したうえで、文部科学省への認可手続をはじめ、勝山キャンパス学部棟の建設工事、教員確保、積極的な入試広報などを実施した。</p> <p>・地域政策学部(令和8年4月開設予定) 令和8年4月の開設に向け、有識者会議の意見を基に基本構想を策定したうえで、文部科学省への手続をはじめ、教員確保、福井まちなかキャンパス設置に向けた関係機関との調整などに着手した。</p>	A
		評価委員会の評価(外部評価)	A	A	A	A	A	A		
II 教育	1 教育の内容、教育実施体制の強化	法人の自己評価	A	A	A	A	A	S	<p>・各分野の実務家が教員となり、自身の知識・経験等を活かし実務教育にあたる「特任講師」制度を新設し、実践的な教育や県内定着を推進した。</p> <p>・オンライン授業に対応した実施体制の構築、看護実習シミュレーションシステムの導入など、教育環境のデジタル化と学習の質の向上を推進した。</p> <p>・令和5年4月に情報センターを開設し、情報専門教員の増員や、体系的なカリキュラム整備などを進め、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」(リテラシーレベル、応用基礎レベル)に認定された。</p>	A
		評価委員会の評価(外部評価)	A	A	A	A	A	S		
	2 多様な学生の受入れ	法人の自己評価	A	A	A	A	A	A		
評価委員会の評価(外部評価)	A	A	A	A	A	A				

分野		法人の自己評価	各年度における評価結果						概要	評価委員会の評価	
				R1	R2	R3	R4	R5	R6		
Ⅱ 教育	3 学生への支援	S	法人の自己評価	A	S	S	S	S	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早い段階から学生との接点を持ち、きめ細かな就職支援を行うことにより、全国平均を上回る就職率を維持するとともに、県内就職割合は令和2年度から5年連続で50%超を確保した。</li> <li>・学生生活の充実・向上を図るため、継続的にアンケート調査を実施し、学生の生活状況を把握したうえで、学生支援やキャンパス環境の改善に活用した。</li> <li>・学術研究活動や課外活動等で活躍した学生を顕彰する「つぐみ賞」を創設し、延べ144名の学生に授与し、学生の取組みを応援した。</li> </ul>	S
			評価委員会の評価(外部評価)	A	S	S	S	S	S		
Ⅲ 研究		A	法人の自己評価	A	A	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入依存度の高い農水産物の県産化やカーボンニュートラルの実現といった地域課題に対応するため、令和4年度より全学的な研究プロジェクトを展開した。</li> <li>・外部資金の申請および獲得を促進するため、申請者を対象としたステップアップ補助金の拡充、研究計画書の添削支援などにより、申請率が大幅に増加した。</li> <li>・大学発ベンチャー企業設立支援制度を創設し、4社の設立を支援したほか、北陸スタートアップ・エコシステムへの参画などを通じてスタートアップ支援を強化した。</li> </ul>	A
			評価委員会の評価(外部評価)	B	A	A	A	A	A		
Ⅳ 地域貢献		A	法人の自己評価	S	A	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究シーズ集の作成などで研究成果を広く発信するとともに、産学官連携の専任教員およびURAの配置による体制強化を図った結果、県内企業との共同研究等が大幅に増加した。</li> <li>・多様な団体等とのネットワークを拡大し、共同研究や人材交流で連携を強化した。</li> <li>・あわら市と包括的連携協定を締結(R1年12月)</li> <li>・国立研究開発法人水産研究・教育機構と包括連携協定を締結(R4年3月)</li> <li>・越前市、NTT西日本とICTを活用した健康増進等の共同研究に係る連携協定を締結(R4年9月)</li> <li>・生物資源学部が越前市と持続可能な農林業の推進に係る連携協定を締結(R5年7月)</li> <li>・福井大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、福井県と脱炭素技術開発の連携に関する協定を締結(R7年3月)</li> <li>・多様な公開講座を開催し、県民の学びを応援するとともに、特にコロナ禍を機に、オンラインやオンデマンド配信を活用した講座を積極的に開催した。</li> <li>・自治体・団体等と連携したフォーラムの開催等、研究成果を地域へ還元する活動を展開した。</li> </ul>	A
			評価委員会の評価(外部評価)	S	A	A	A	A	A		

分野	法人の自己評価	各年度における評価結果						概要	評価委員会の評価	
		R1	R2	R3	R4	R5	R6			
V 国際化	A	法人の自己評価	A	A	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動などの海外自主研修を対象とした助成制度を創設するなど、支援を拡充した。</li> <li>・海外派遣支援の担当教員やコーディネーターを配置し、質の高い海外研修プログラムの企画・実施などを通じて留学機会を拡大した。</li> <li>・令和4年度にリニューアルしたワールドカフェ等を拠点に、語学勉強会など様々なイベントや支援を実施したほか、オンラインを活用した英会話レッスンや交流会を実施した。</li> <li>・コロナ禍においても、海外協定校や日本語学校に本学を積極的にPRし、留学生の受入れを促進するとともに、ワンストップ相談窓口の整備などにより、学生生活を支援した。</li> <li>・新たに5大学と学術交流協定を締結し交換留学等を実施した。</li> </ul>	B
		評価委員会の評価(外部評価)	A	B	A	B	B	B		
VI 情報発信	S	法人の自己評価	A	A	A	S	S	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学公式SNSの運用開始などにより、教職員や学生が一体となって積極的に情報発信した。</li> <li>・令和4年度から3年連続でメディア掲載・放送件数が目標値を大幅に超える500件超を達成した。</li> <li>・本学創立30周年を記念した式典・シンポジウムや、日本学術会議公開シンポジウムなどを開催し、本学の研究成果を広くアピールした。</li> <li>・ジャパン・インターナショナル・シーフードショーや北陸技術交流テクノフェアに継続して出展し、本学の研究シーズを関係業界にPRした。</li> </ul>	S
		評価委員会の評価(外部評価)	A	A	A	S	S	S		
VII 業務運営	A	法人の自己評価	A	A	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学に求められる多様なニーズに的確に対応するため、令和4年度から地域連携担当の副学長およびハラスメント対策担当の特任学長補佐を配置して事業推進体制を強化した。</li> <li>・URAなどの専門人材やプロパー職員の計画的な確保を図った。</li> <li>・業務効率化やセキュリティ強化を図るための基幹システムの再構築に向けて学務・財務システムの基本設計、入札等を実施した。</li> <li>・照明のLED化やウォーターサーバーの設置など、環境に配慮したキャンパスづくりを推進した。</li> </ul>	A
		評価委員会の評価(外部評価)	A	A	A	A	A	A		

公立大学法人福井県立大学評価委員会 委員名簿

氏名	職	備考
しらす としろう 白須 敏朗	一般社団法人大日本水産会相談役	委員長
なかの ひろみ 中野 裕美	豊橋技術科学大学 名誉教授	
てしま まさこ 豊嶋 雅子	フクビ化学工業(株) 元取締役	
ふるたに きよかず 古谷 清和	敦賀気比高等学校長	
やまもと のりこ 山本 則子	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学 専攻 高齢者在宅長期ケア看護学/ 緩和ケア看護分野 教授	

(50音順)